

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	教育実習事前事後指導		
英文授業科目名			
開講年度	2007年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間・夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	教職科目-教育実習-		
開講学科・専攻	情報工学科 量子・物質工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	青木 輝壽		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
aoki@courante.plala.or.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>主 題：教育実習生が中学校、高等学校の教育現場で教育を実践するための、事前の心構えや基礎技能を修得すること、また実習事後の総括を行なうこと。</p> <p>達成目標：1．教職課程の講義や演習で修得した専門知識や技能を学校現場で実際に適用する時に必要な心構えと基礎技能を修得し、教育職業への理解を深めることにある。</p> <p>2．そのために事前指導では、学校管理、教材研究、指導案作成や模擬授業、また事後指導では討論などを行なう。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
教員免許状取得に必要な科目の単位を修得見込みであること。

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
この講義を受講するときは、教育工学を履修しておくことが望ましい。

<b>【教科書等】</b>
<p>教科書は使わない。授業に必要な資料は配布する。</p> <p>参考書は、たくさん出版されている。</p> <p>・(例)「新教育の方法と技術 &amp;#8211;学習指導のシステムデザイン」教育出版</p>

## 電気通信大学 平成19年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

講義、学生による授業計画や指導案の作成、模擬授業（マイクロテーチング）、授業研究などを行う。

教育実習期間の前に6回、後に3回の授業を次の内容で進める。（実習校によっては時期がずれることがある）

- 1.オリエンテーション(中学・高校の現状、カリキュラム、校務分掌、特別活動、生徒指導他)
- 2.教育実習の心得（教育工学的手法、授業のVTRによる記録、授業改善視点表による授業分析）
- 3.模擬授業のための指導案作成と演習
- 4.指導案改善と授業方法についての講義と演習
- 5.（学校現場での授業、公開授業）
- 6.実習後討論(授業のVTRによる記録、授業改善視点表による授業分析)
- 7.レポート作成・提出

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

教員養成の観点から、教員としての資質の涵養とその達成努力が求められる。

内部評価は、無欠席、授業態度、レポート、調査・研究の姿勢、プレゼンテーション技術で、

外部評価は、実習校からの評価で、総合的に達成度を評価する。

### 【オフィスアワー：授業相談】

アポイントがあれば、いつでも応じる。

また、メールでの相談も可能な限り応じます。

### 【学生へのメッセージ】

生徒たちの夢と希望を実現できるように育てるのが教師の使命。

常にその心がけが教育実習のときから持ち続けてほしい。

### 【その他】